

津久井やまゆり園事件 この悲しみを力に、 ともに生きる社会を実現します

平成28年7月26日、障害者支援施設である
県立「津久井やまゆり園」において、大変痛ましい事件が発生しました。
このような事件が二度と繰り返されないよう、
私たちはこの悲しみを力に、断固とした決意をもって、
ともに生きる社会の実現をめざし、
ここに「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めます。

翔子


題字「ともに生きる」
ダウン症の女流書家 金澤翔子

本県の取り組みや金澤翔子さんの舞台上揮毫の動画などは、
こちらから **ともに生きる社会かながわ** 検索

この憲章は神奈川県と神奈川県議会が共同して策定したものです。

お問い合わせ 神奈川県保健福祉局福祉部共生社会推進課 電話 045-210-4961 FAX 045-201-2051

ともに生きる社会
かながわ憲章

— 私たちは、あたたかい心をもって、
すべての人のいのちを大切にします

— 私たちは、誰もがその人らしく
暮らすことのできる地域社会を実現します

— 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げる
あらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します

— 私たちは、この憲章の実現に向けて、
県民総ぐるみで取り組みます

平成28年10月14日 神奈川県



神奈川県

はじめに

この冊子は、「第22回人権メッセージ展」に寄せられた“人権メッセージ（人権に寄せる想い）”を、より多くの皆様に届けるために、作成されました。

「人権メッセージ展」とは、“人権の大切さを伝えていきたい”という願いを込めて、「神奈川県人権啓発推進会議（民間団体、企業、行政等で構成）」が毎年開催している、誰もが気軽に参加できるイベントです。

このイベントでは、文化・学術・芸能・スポーツなど、各界で活躍されている方々から“人権メッセージ”をお寄せいただき、パネルにして会場に展示しています。今回は神奈川県立総合療育相談センター主催「大切な人たちへ～いつもありがとう～」の入選作品も会場に展示し、多くの方にご覧いただきました。

さらに、会場では、ご来場いただいた皆様からたくさんのメッセージをお寄せいただきました。紙面の都合上、すべてのメッセージをご紹介しますことはできませんが、それぞれの想いに触れていただき、“人権”をより身近に感じていただけたらと思っております。

また、イベントを開催するにあたってご協力・ご支援いただきました、多くの企業・団体の皆様に改めて感謝申し上げます。

「人権メッセージ展」は、団体、企業、学生、行政、そしてメッセージをお寄せくださった一人ひとりの人権に寄せる想いが結集した事業です。寄せられたメッセージが多くの人の心に響き、その想いが広がり、人権について考えるきっかけになれば幸いです。

平成30年3月
神奈川県人権啓発推進会議



神奈川県知事 志岩祐治